

議会報告会 会場報告書

担当班： 2班 班代表者： 園田依子

概要					
地区名　：大芋地区 日時　　：平成27年5月26日（火） 19：30～21：00 場所　　：大芋公民館 参加人数：　20人(男19人・女1人)	【出席議員】			挨拶・総括	：　園田依子
	園田依子	（１）開会あいさつ：	園田依子	司会進行	：　小島政行
	小島政行	（２）議会報告　　：	國里修久	報告	：　國里修久
	吉田浩明	（２）議会報告　　：	恒田正美	報告	：　恒田正美
	河南克典	（３）質疑応答　　：	下記参照	受付・記録	：　吉田浩明
	國里修久	（４）意見・提言等：	下記参照	受付・記録	：　河南克典
	恒田正美	（５）閉会あいさつ：	河南克典	会場（マイク）	：　國里修久

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・「プレミアム商品券」について、市の広報紙等でお知らせがあるのか。また、子供のいる世帯での追加購入できるというのがその内容はどんなものか。	・周知については市の広報紙に掲載予定です。0歳から高校3年生までいる世帯にその人数に応じて追加購入できます。なお、前回商品券を発行した時には、住民への周知不足が指摘されたことから、今回はしっかりと周知をするとの報告を受けています。
・有害鳥獣駆除費730万円は猟友会への委託費であるということか。	・12月の補正予算で増額したのは、例年より多くのシカ、イノシシが捕獲されたためです。
・味間認定こども園の設計委託費が4,427万円と高額であるが適正な額であるのか。	・予算額は見積の金額で、その後入札が行われ、契約金額は下がっています。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・農業は耕作放棄地や担い手不足の中、現状維持が精一杯で、特産物の振興による農業振興など不可能であると思う。農都創造条例は農家の現状をきっちり議論されて作成されたのか疑問に思える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村は耕作放棄地、高齢化、担い手不足、獣害など多くの問題があります。国は農業の大型化を進めていますが計画は進んでいません。大型農家は条件のいい圃場を好むため、山際や狭小地などの条件の悪い圃場は耕作放棄が進むことが心配されます。議会でも課題があることは認識しています。なお、条例は、今までバラバラであった農業施策に一体のものとして方向付けをするもので、今後はそれに基づいて計画を立てることになります。新規就農者の育成や集落営農組合の設立に絡めて空き家問題や地域コミュニティなど農村問題全体について取り組んでいく必要があると考えます。ご意見は執行者にも伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・来春には大芋小学校が統合される予定となり、地区から公共施設がなくなる。今後行政とのつながりが希薄になるのではないかと不安である。地域の課題の解決のためには住民が主体で取り組む必要があるが、どのような形で進めればよい方向へ進むのか。地域でも努力するが、市の手助けが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は地域の拠点の役割も担っており、跡地の利活用問題は非常に大切であります。まちづくり協議会の活動に行政も支援をして地域の課題に取り組んでいくことが必要となると考えます。ご意見は執行者にも伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・篠山市は近隣の市町と比較して水が高い。原因として6万人構想の中で、県水を買っているからだと聞くが、県水をやめれば水道水は安くなるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県水を導入したのは、篠山川からの取水だけでは市の水道水をすべて賄うことができず、県水をやめることはできません。
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯について、地区で最近、空き巣や車上荒らしが多い。市内の空き巣被害状況について知っているか。議会からも地域の駐在所に見回り強化するように働きかけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の空き巣は住人がいても侵入するなど大胆な犯行も多い。防犯カメラの設置もなかなか追いつかないので、住民で地域をささえること及び、地域の見守りでしか防ぐことはできないと思います。